

エネルギー地産地消事業化モデル支援事業について

1 事業概要

系統制約が生じている地域の新エネルギー導入を促進するため、地域ネットワークの整備やF I Tに頼らない需給システムの構築などにより新エネルギーを有効活用するモデルとなる取組に対して支援を行う北海道の補助事業。

- (1) 対象者：市町村、市町村と法人等で構成された共同体（コンソーシアム）
- (2) 補助率：定額（10/10 以内）
- (3) 限度額：1,000 万円以内
- (4) 対象事業：有効活用の手法検討、実証等

2 計画書の概要

令和 2 年度に実施した「農山漁村活性化推進事業」において、本町の地域課題である高水分の乳牛ふん尿の処理方法について、民間事業者に対して解決策（案）の募集を行い、提出された提案内容に関して、事業の実現性や事業に必要なコスト等を更に詳細に調査するため、標記事業を活用しようとするもの。

- (1) 計画書の申請者：家畜ふん尿処理施設検討共同体（コンソーシアム）
（町と J A が構成員、代表者は J A）
- (2) 計画書の提出日：令和 2 年 8 月 28 日
- (3) 計画書の認定日：令和 2 年 11 月 27 日
- (4) 実施体制：共同体、家畜ふん尿処理検討会、民間事業者（コンサルティング会社）が連携

※共同体が事業実施主体となるため、町の予算措置はありません。

3 スケジュール

令和 2 年 8 月	計画書の提出
" 11 月	計画書の認定
" 12 月	原料やガス利用先候補に関する基本的な調査
令和 3 年 1 月	事業モデルに対する実現性の検討、概略設計
令和 3 年 3 月	検討結果及び概略設計等の受領